

按摩治療や浪曲口演

老人ホームに慰問続々

坂田池のほとり、閑静なただすまいの中の横芝町老人ホームには、現在五十二名の老人たちが、社会人としての務めを終え静かな老後を楽しんでおります。

とは言っても年をとってからの集団生活には、なかなかなじみにくいもの、また時間を持ってあまし、単調な毎日になりがちなのも避けがたいようです。

いざ療治が始まると四十畳敷の広間もところ狭しの盛況で、療治を受ける者も順番を待つ者も一しよになつての四方山話に花が咲いて、幾月分もの楽しみを合せてような楽しい一日を過ごしました。

そのあと七月三十日には、新島の阿蛭製作所の社長さんの肝いりで、浪曲界の大家木村忠衛師の口演慰問をいただきました。この日も師の熱のこもった人情ものの語りぶり

に、涙を流したり、腹をかかえたり、感心したりで、長講二席を時間のたつのも忘れて聴きいってました。

これらの慰問や単調になりがちなるホーム生活にとつてまことに有がたい贈りもので、明日への希望と活力をよみがえらせる大きな力になります。

また上埜地区道貫の理髪店主海保能夫さんは、昭和三十四年三月から現在まで十年近く、毎月老人たちの理髪、顔そりの奉仕をして頂いております。

これもまたホームのお年寄の楽しい一日になっていきます。

九月のこよみ

- 1日 関東大震災記念日
- 9日 重陽節、菊の節句
- 15日 敬老の日
- 18日 満州事変突発
- 20日 彼岸入り
- 23日 秋分の日

重陽節 陰曆九月九日、菊の節句とも言い「平安の初期から宮中の節会の一つとして重んじられ、詩を作り菊酒の宴を張る。のち武家に移つて江戸時代が最盛。民間もこれにならう」とある。九という数は陽をあらわすので、月と日が九であるから「重陽」と言つたもの。



稲刈り始まる

がら本豊作の稲刈りが始まる。作が急なため、不順で、天候が直らないうちに稲刈りが始まる。出穂期が夏型に予想され、稲刈りが始まる。

婦人少年室協助員に 栗山の滝川さん

栗山の滝川友子さんが婦人少年室協助員に委嘱されました。この協助員は労働大臣から委嘱されて、働く婦人や年少労働者（十八才未満の者）の労働条件とか、婦人の地位向上などに関するすべての問題

について相談に応じ、必要があれば関係の役所、団体などに連絡して希望にそつとあつせんする仕事を受けつています。

何か問題がありましたら気軽にご相談下さい。必ずしも相談相手になつてくれません。

なお不明の点は千葉婦人少年室（千葉市松波町三ノ一）ノ三電話千葉五一局四三三七番）えお問合せ下さい。

発句をたしなむ お方に！

句会にもいろいろあるそう。俺には難かしいことはわかんねエ。だけど五、七、五と並べて見たら結構楽しい気分になるもんだ。

横芝町にもずいぶん俳人がござらっしゃる。それが他の町村の人と一緒に「砂」という俳句の本を、出してござらっしゃるといふことだ。今月から広報係様にしたので、その中から素人にもわかるもので、横芝の人の作品を載せてもらうことにした。

勉強の足しにしてもらうべエヨ。誰かこの「砂」の仲間入りがしてえといふ人は、栗山宮脇の鈴木まさひろというお人から話せばいいちゅうことだからしらせておくべえよ（栗山春向）

横芝俳壇

父の日や無理に言わせる酒の癖
海南風に別れの瞳かがやかせ
北清水 斉藤ちくろ
五月雨や機首むく方は横湖と
雲海を抜けて機上に名利なし
東町 土屋 栗水
夕暮やそだけ残し栗の花
去年の夏亡夫と聞きし古風鈴
栗山 若梅あやめ

訂正

前号第一頁最下段、郡市民体育大会記事で、二百米に一位の「大木俊勝君」は「大木一雄君」としたのは誤りでした。ご迷惑をおかけしたことをお詫びして訂正します。
(教育委員会)

番号	氏名	部落
22-18	館治一	青年合會
33-16	武直	合會
33-17	治子	根合
44-17	夫和	根合
45-18	夫和	根合
53-15	夫和	根合
70-18	夫和	根合
82-18	夫和	根合
88-17	夫和	根合
41-17	夫和	根合
51-18	夫和	根合
61-5	夫和	根合
88-18	夫和	根合
36-2	栗田光	上本東
51-5	栗田光	上本東
61-7	栗田光	上本東
55-5	栗田光	上本東
70-2	栗田光	上本東

有線放送電話加入者の異動をお知らせします。ご面倒でもお手許の番号帳の加除訂正をお願いします。